

令和8年度地球温暖化対策用設備導入助成金申請受付を開始しました!!



市では、**建築物の脱炭素を推進**するため、住宅・事業所への省エネ設備・再エネ設備の設置に対し導入費用の助成を行っています。

建築物の太陽光発電推計量(ポテンシャル)がわかる3D都市モデル公開中!!

市内における各建築物の太陽光発電推計量(ポテンシャル)をホームページに公開している3D都市モデル上でご覧いただけます。

各建物の屋根に太陽光発電パネルを設置した場合に、年間どれだけの発電量になるかを推計し、発電推計量の程度に応じて、3D都市モデル上の建物を色分けしています。

建築物をクリックすると、具体的な発電推計量(ポテンシャル)を確認できます。太陽光発電システム設備検討の際に、ぜひご活用ください。



HPIはこちらから↑

申請期間 令和8年4月1日～令和9年1月29日

対象機器等	助成金額(1,000円未満切捨て)
HEMS(エネルギー管理システム)	機器本体費用の3分の1以下
太陽光発電システム	太陽電池モジュールの公称最大出力1kWあたり2万円を乗じた額
家庭用燃料電池	5万円
高反射率塗装	材料費の4分の1以下
蓄電池システム	5万円
高断熱窓	1件あたり5万円
宅配ボックス	1件あたり2万円

- ※ 助成金額には上限があります。
- ※ 太陽光発電システムにはリース・PPA、蓄電池システムはリースによる導入も対象。
- ※ 新築住宅への太陽光発電システムの設置は対象外となる場合があります。
- ※ 高反射率塗装は共同住宅の共有部分等に導入する場合は、上限20万円
- ※ 宅配ボックスは共同住宅の共有部分等に導入する場合は、上限10万円
- ※ 各機器には要件があります。



詳細は狛江市のHPでご確認ください→

市内で事業を営んでいる方、大注目!! 高反射率塗装は熱中症対策に効果的です!

気候変動が進み、夏季の気温が上昇し、職場における熱中症の発生も増えており、以前よりも、室内でも熱中症への対策が一層必要になっています。その対策として、従業員の熱中症を未然に防ぐために建築物の屋根に施工する「高反射率塗装」が効果的と注目されています。

「高反射率塗装」は、太陽光を効率よく反射し、建築物の屋根表面の上昇温度を抑えることで、室内環境の改善や空調の効果的な使用による省エネルギーの効果も期待できます。

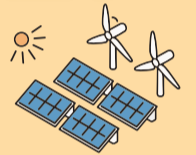
狛江市の地球温暖化対策用設備導入助成金の高反射率塗装は事業所も対象となっていますのでこの機会にぜひご検討ください!!

クール・ネット東京のご紹介!

クール・ネット東京では、東京都における地球温暖化防止活動の拠点として、東京都や区市町村等と連携して普及啓発に取り組むとともに、都民や中小事業者の皆様の地球温暖化防止の取組や省エネ対策を支援しています。助成金の情報はもちろん、機器設置から維持管理までの相談をすることができます。

詳しくはクール・ネット東京に直接お問い合わせください。

クール・ネット東京HP→



今回は、こまポ^{※2} 5000ポイント付与! 先着30世帯!

再エネ電気切替キャンペーン が始まります!

ご家庭の電気契約を「再エネ電気プラン^{※1}」に切り替えた方で、2回のアンケートを回答された方にこまポの他、市から素敵なプレゼントをお渡します!

※1 太陽光等の再生可能エネルギーを電源とした電気を利用するプラン

1回目アンケート受付期間 令和8年6月1日～令和8年12月31日

★再エネ電気プランに契約を切り替えた方を対象としたアンケートです。2回目のアンケートフォームは、1回目のアンケートを回答された方に個別に送付いたします。

選べるプレゼント(3種から2つ) えこまさんのぬいぐるみも!

お手軽サイズのエコバッグ

レジかごに入るエコバッグ

コンビニカップ対応真空タンブラー

このキャンペーンでしかもらえません!

再生可能エネルギー由来の電気は、発電時に地球温暖化の原因とされるCO₂を排出しません。太陽光発電設備は、建物の屋根の形状や日射状況等で設置ができない場合がありますが、電気契約を「再エネ電気プラン」に切り替えることで、誰でも簡単に環境にやさしい電気を利用することができます。

未来に向け、「環境を守る」という視点でご家庭の電気を見直してみませんか。

※2 こまポは、狛江市が運営する地域ポイントサービスです。市民の皆さまが地域活動やイベントに参加するとポイントを獲得ができ、協力店で商品や特典と交換ができます。地域のつながりを深め、まちの活性化を目指す、狛江市独自の共助型コミュニティサービスです。



こまポの詳細▼



ゼロカーボンシティの実現に向け、市ではこんな取組を行っています!

東京ガス株式会社とゼロカーボンシティ実現に向けた包括連携協定を令和6年3月に締結し、定期的に協議し、課題整理や具体的解決に向け検討しています。



(一例)

①3D都市モデル活用

太陽光発電導入に関心がある方を対象に、東京ガスライフバル調布狛江と共同で脱炭素セミナーを実施し、普及に向けた取り組みを実施しました。

令和8年6月13日(土)にも実施します。右の2次元コードよりお申し込みください。



②カーボンストックギフト

市民の皆さまの行動変容に向けて、CO₂吸収量を印字したタンブラーを東京ガスが製作しました。このタンブラーはこまエコまつりや市民まつりの来場者で1年間のeco宣言をした方へ配付を行い、ゼロカーボンに対する意識定着を図りました。今回のこまエコまつりでも実施します。

